

古代インドの神秘思想

初期ウパニシャッドの世界

はつとり まぎあき あかまつ あきひこ
服部正明著 赤松明彦解説

▼文庫判・並製カバー・248頁・定価 一、二二〇円

2024年7月刊行



法蔵館文庫

大宇宙と小宇宙の対応の思想は、最高実在
ブラフマンと個体の本質アートマンの一致の自
覚へと深化される。生の根源を洞察する古代
インドの叡知、神秘思想の本質を、初期ウパニ
シャッドをもとに解明した最良のインド思想
入門。

【目次】

法蔵館文庫版の刊行によせて
はしがき
プロローグ

第一章 古代インドの叡智

- 1 ウブネカッタ
- 2 ショーペンハウアーからインド古典学へ
- 3 古ウパニシャッド
- 4 神秘思想

第二章 祭祀から哲学へ

- 1 大宇宙と小宇宙の対応
- 2 ウパーサナ(念相)
- 3 先科学的科学
- 4 主知主義への道
- 5 祭祀の内面化

第三章 ブラフマンとアートマン

- 1 最高実在と個体の本質
- 2 ブラフマン(梵)
- 3 プラーナ(氣息)
- 4 アートマン

第四章 「有」の哲学

- 1 ウツダーラカの学説
- 2 有と非有と高次の有
- 3 三要素による現象世界の構成

第五章 「非ず、非ず」のアートマン

- 1 ヤージニャヴァルキヤの思想(一)
- 2 生命原理としての火
- 3 認識から成るアートマン

第六章 輪廻と解脱

- 1 ヤージニャヴァルキヤの思想(二)
- 2 輪廻説とアートマン論
- 3 睡眠の考察

第七章 アートマンと外界

- 1 『カウシータキ・ウパニシャッド』の教説
 - 2 エピローグ
- 講談社学術文庫版あとがき
講談社学術文庫版解説 赤松明彦
引用文献索引

◆著者・解説者略歴

服部正明(はつとり まぎあき)

一九二四年、東京生まれ。京都大学文学部哲学科卒業。六一年から京都大学文学部助教授、七三年から同大学教授をつとめた。八八年退官。京都大学名誉教授。専攻は、インド哲学史。

著書『Dignana, On Perceiving (Harvard University Press)』、『認識と超越(唯識)』、『共著「仏教の思想」4』、『翻訳「ウパニシャッド」抄』他5編(『世界の名著』1『バラモン教典・原始仏典』所収)などがある。

赤松明彦(あかまつ あきひこ)

一九五三年京都府生まれ。七六年京都大学文学部哲学科卒業。同大学院修士課程修了。八三年より第三大学博士課程修了。文学博士。帰国後、京都大学人文科学研究所助手、八七年から九州大学助教授、教授。二〇〇一年、京都大学大学院文学研究科教授。二〇一八年退官。京都大学名誉教授。

著書に、『楼蘭王国 ロプ・ノール湖畔の四千年』、『バガヴァッド・ギーター 神に人の苦悩は理解できるのか?』、『書物誕生あたらしい古典入門』、『インド哲学10講』、『ヒンドゥー教10講』ほか。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法蔵館 定価 一、二二〇円	
服部正明著、赤松明彦解説 古代インドの神秘思想 — 初期ウパニシャッドの世界 — 【法蔵館文庫】	
ISBN : 978-4-8318-2670-1 C1110	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

インド哲学